

令和8年度第1回東広島市環境先進都市推進会議

ご報告事項



目 次

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答
2. 令和7年度 S-TOWNプロジェクトの進捗報告
3. 令和8年度取り組み

- 1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答**
2. 令和7年度 S-TOWNプロジェクトの進捗報告
3. 令和8年度取り組み

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答①

前回議事要旨

- ④ 電力使用量を排出量に換算しているが、産業部門において、使用電力をグリーン電力に切り替えると報告資料にある数値に反映されるのか。全量をグリーン電力に切り替えると0という数字になるのか。
- ✧ 特定排出事業者とそうではない事業者の二つの項目から数値を算出している。特定排出事業者であれば、その事業者の排出量が環境省より公表されるため、その数値が直接的に反映されるが、特定排出事業者ではない事業者に関しては、環境省が公表している広島県の事業所における総排出量を各市町で按分した数値を使用するため、一事業者で排出量削減を実施したとしても直接的に反映はされない。算出方法の詳細については、次回会議で報告する。現在の算出方法は推計値の要素が多分にあり、情勢の変化で算出される数値が変わることがあるため、少しでも現実に沿ったデータ収集の手法を検討していきたい。＜事務局＞
- ✧ 特定排出事業者は市域の事業者の何%になるのか。＜委員＞
- ✧ 正確な数値を次回会議で報告する。＜事務局＞

- ✓ 算出方法の詳細について報告
- ✓ 特定排出事業者は市域の事業者の何%になるのか報告

前回資料

3 令和4年度の温室効果ガス分野別排出量

■R4年度部門・分野別の温室効果ガス排出量と基準年度対比

部門	分野	R4排出量 (t-CO ₂)	構成比	基準年度排出量 (t-CO ₂)	基準年度比
産業部門		259,519	20.0%	271,437	-4%
	製造業	225,085	17.4%	229,914	-2%
	建設業・鉱業	10,598	0.8%	14,234	-26%
	農林水産業	23,836	1.8%	27,289	-13%
業務その他部門		253,190	19.5%	397,146	-36%
家庭部門		262,059	20.2%	305,259	-14%
運輸部門		470,396	36.3%	464,237	+1%
	自動車	397,475	30.7%	361,881	+10%
	鉄道	61,000	4.7%	89,316	-32%
	船舶	11,921	0.9%	13,040	-9%
エネルギー起源CO2以外の 温室効果ガス		50,120	3.9%	51,369	-2%
合計		1,295,284	100%	1,489,448	-13%

※集積回路製造業1社を除く

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答②

- 温室効果ガスの分野別排出量は国等が公表しているデータを基に算定。
- 東広島市の「産業部門 製造業」と「業務その他部門」において、特定排出事業者とそれ以外の事業者が存在するため、それぞれ計算して合計値を報告している。
- 「業務その他部門」には、公共施設や百貨店や総合スーパー等が含まれる。

【特定排出事業者の場合】

- 特定排出事業者とは、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」により、温室効果ガスを一定量以上排出する者をいう。
- 特定排出事業者が国に報告した温室効果ガスの排出量は、環境省HPに公表。

【特定排出事業者以外の事業者の場合】

- 特定排出事業者以外の事業者の温室効果ガスの排出量は、都道府県単位で公表されるエネルギー使用量（炭素原単位と電力量）から、広島県の公表データを使用し算定。
- 分野ごとに、広島県の特定排出事業者以外の1事業者あたりの温室効果ガスの排出量を算定。
- 東広島市の特定事業者以外の事業者数に広島県の1事業者あたりの温室効果ガスの排出量を乗じて、算定。

部門	分野	特定排出事業者	その他の事業者	事業者数の県に占める割合
産業部門				
	製造業	事業者ごとに公表されている 温室効果ガス排出量のデータを使用 188,291 t -CO2 ※集積回路製造業1者を除く	県の温室効果ガス排出量 × 市の事業者数 ÷ 県の事業者数 36,794 t -CO2 ※特定排出事業者を除く	特定排出事業者数 10.9% (市22、県202) ※集積回路製造業1者を除く その他の事業者数 7.8% (市716 県9,225)
	建設業・鉱業			
	農林水産業			
業務その他部門		事業者ごとに公表されている 温室効果ガス排出量のデータを使用 40,945 t -CO2	県の温室効果ガス排出量 × 市の事業者数 ÷ 県の事業者数 212,245 t -CO2 ※特定排出事業者を除く	特定排出事業者数 4.6% (市6、県131) その他の事業者数 5.5% (市5,555 県101,057)

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答③

- その他の部門の計算方法は下表のとおり。

部門	分野	計算方法	県に占める割合
産業部門			
	製造業		
	建設業・鉱業	県の温室効果ガス排出量 × 市の事業者数 ÷ 県の事業者数 建設業 10,566 t-CO ₂ 、鉱業 32 t-CO ₂ 、農林水産業 23,836 t-CO ₂	建設業 4.5%、鉱業 0.6%
	農林水産業		9.0%
業務その部門			
家庭部門		電力：県の家庭電力量×市の世帯数÷県の世帯数 237,677 t-CO ₂ 都市ガス：市内の実績数値 1,422 t-CO ₂ LPガス・灯油：広島市の1世帯当たりの使用量を準用。単身世帯については、使用料を1/2で算出（全世帯数のうち、単身世帯数は43%） 22,960 t-CO ₂	世帯数 6.7%
運輸部門			
	自動車	環境省公表の市区町村別のCO ₂ 排出量を使用 397,475 t-CO ₂	
	鉄道	JR西日本管内のCO ₂ ×市の路線営業距離÷JR西日本の路線営業距離 62,050 t-CO ₂	2.4% JR西日本全線に占める割合
	船舶	環境省公表の市区町村別のCO ₂ 排出量を使用 11,921 t-CO ₂	
エネルギー起源CO ₂ 以外の温室効果ガス		市の実績量を環境省の公表する排出係数を用いて算出 545,120 t-CO ₂	

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答④

■ 特定排出事業者 ※集積回路製造業1社を除く			CO2排出量（t-CO2）			東広島市に占める割合 ／部門に占める割合
東広島市全体			1,295,284			
	うち産業部門			259,519		
		うち製造業 特定排出事業者（22者）			188,291	14.5% ／ 72.6%
	うちその他業務			253,190		
		うちその他業務 特定排出事業者（6者）			40,945	3.2% ／ 16.2%
特定排出事業者全体					229,236	17.7% ／ —

- ✓ 温室効果ガス排出量の計算において、特定排出事業者については、実績の数値を使用しているため、特定排出事業者の温室効果ガス排出量が減少すれば、本市の温室効果ガス排出量も減少する。
- ✓ 一方で、その他の事業者等は按分方式により算出した数値を採用しているため、広島県の温室効果ガス排出量がゼロになれば、東広島市はゼロにはならない。

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答
- 2. 令和7年度 S-TOWNプロジェクトの進捗報告**
3. 令和8年度取り組み

2. 令和7年度 S-TOWNプロジェクトの進捗報告

■ S-TOWNプロジェクトで目指す姿

S (Smart)

スマートタウン形成モデル
プロジェクト

・家庭やコミュニティ、事業所等に再生可能エネルギーの導入やエネルギーマネジメントを浸透させ、環境、教育、福祉等の幅広い分野のスマートシティ化を図る。また、近年激甚化する災害に対応するよう地域のレジリエンス強化を図る。

T (Technology)

技術連携プラットフォーム構築
プロジェクト

・市内の産学官民が有するポテンシャル※を他のプロジェクトの実現に活かすための連携支援組織を立ち上げ、プロジェクトの体制整備や技術連携、人材活用を支援し、各プロジェクトのアウトプットを環境教育や地域活動にフィードバックする体制を整える。

O (Organic)

有機性廃棄物エネルギー
創出プロジェクト

・再生可能エネルギーの活用や環境に優しい農林水畜産業の連携を加速させることを目的に、ごみの減量化・資源化を推進し、廃棄物からのエネルギー抽出や、たい肥化等の有効利用する仕組みを確立する。

W (Wood)

木質バイオマス活用促進
プロジェクト

・森林保全や里山再生、新たな雇用の創出等の地域課題解決を目指し、木質バイオマスを地域で有効活用する仕組みを確立する。

N (Next generation)

次世代エネルギー普及
加速プロジェクト

・再生可能エネルギーの普及促進と並行して、次世代エネルギーである水素利用、ブロックチェーン技術等の活用等に先進的に取り組み、エネルギーや環境問題全般への市民意識の醸成を図る。

■ 取組内容（Smart）

	取組	内容	進捗：2025（令和7）年度実績
S ①	スマートハウス化支援補助	市内の住宅へ蓄電池・エネファーム・V2Hの設置を行う個人に補助を行う	蓄電池 104件 2015年に開始し、これまで、蓄電池 1,198件、エネファーム 56件、V2H 20件の補助を実施 (令和7年度は6月に予算上限に達したため受付終了)
S ②	事業者向け省エネ・再エネ設備導入の補助	市内事業者が社屋に高効率照明や高効率空調、太陽光発電設備などを設置する費用の補助を行う	事業者 2件 二酸化炭素排出抑制対策事業補助金を活用し、これまで、太陽光発電設備 12件（657kW）、蓄電池 3件、高効率照明 15件、高効率空調 32件の補助を実施 ※ R7年度以降は照明・空調の補助を終了
S ③	住宅向け太陽光発電設備設置補助	市内の住宅へ太陽光設置にかかる費用の補助を行う	住宅 58件 二酸化炭素排出抑制対策事業補助金を活用し、これまで 167件（607kW）の補助を実施
S ④	自転車の利活用の推進	低炭素移動手段である自転車の利活用と走行のためのネットワーク計画を策定し、自転車の利活用の推進を図る。	令和7年5月「東広島市自転車活用推進計画」策定。 ホームページにて公開。
S ⑤	スマートコミュニティモデルの構築	広島大学スマートシティ共創コンソーシアムにおける情報共有等	コンソ全体会議 24回 CN・エネルギー分科会 4回
S ⑥	市有施設での再エネ発電実施	ESCO事業による小中学校や地域センターへのPVを設置 ※使用電力量が一定程度あるなど、太陽光（PV）設置のコストに見合う施節について、計画的に導入	ESCO事業 4施設 龍王小、下黒瀬小、磯松中、西条学校給食センターの空調・PV設置等 市内13か所：741.2kWのPV設置（ESCO事業は不含） 市内14か所：225.78kWのPV設置（ESCO事業）

■ 取組内容（Technology）

	取組	内容	進捗：2025（令和7）年度実績
T ①	環境関連ビジネスの育成	環境分野におけるビジネスの活性化、付加価値の創出、人材育成のため、ビジネスセミナー等を開催	環境分野セミナー 0回 ※令和7年度末をもってHi-Biz終了
T ③ ④	環境教育プログラム・ウェブ上の環境学習拠点	環境学習のデジタルコンテンツとして、東広島スマートエネルギー株式会社（HSE）のHP内に「のん太の自然発見パーク」を展開	閲覧者延べ人数 1,410人
T ⑤	SDGs未来都市東広島パートナー制度の推進	SDGsに積極的に取り組んでいる企業や団体等の登録を行い、活動を通じてSDGsを推進する。	登録数 496団体（R8.3.31時点）
T ⑥	エコスクールの推進	持続可能な社会の担い手を育成するための活動と環境を考慮した学校施設エコスクールの整備を推進する	学校の増築に伴うZEB Ready化 完成2校 御園宇・川上 令和8年度 1件着工予定（郷田小学校） エコパークオンライン社会見学 15校、触れる地球体験 11校、 広島大学遠隔授業（環境分野） 9校、ハーバード大学客員研究員によるSDGs授業 4校、太田川流域自然体験学習 1校
T ⑦	次世代交通システムの導入検討	JR西条駅と広島大学をつなぐブルーバールでのBRT（Bus Rapid Transit：バス高速輸送システム）の導入検討	EVバスによる自動運転実証実験

■ 取組内容（Organic / Wood / Next generation）

	取組	内容	進捗：2025（令和7）年度実績
O ①	フードロス削減推進と食品残渣のリサイクルループの構築	市内スーパーの食品残差リサイクルループを構築 家庭ごみの減量化とたい肥化	たい肥化補助実績 5件 31 t ※令和7年度末をもって事業終了 生ごみ処理機助成実績 239台
O ②	有機性廃棄物の有効利用	有機性廃棄物の有効利用を図るためたい肥化等して活用する。	木質チップ由来のたい肥：91 t ミズプロジェクト：13か所（保育所・小学校実施）
O ③	広島中央エコパークをフィールドとした産学官共同連携プロジェクト	汚泥再生処理センターの消費電力の省力化を目指す目的のメタゲノム解析を実施する。	処理性能とゲノム解析の関連性を継続して検討中 メタノール代替薬剤の有効性実証 エネルギー使用量削減技術の検討

	取組	内容	進捗：2025（令和7）年度実績
W ①	木質バイオマス利活用	森林の保育や間伐等の計画的な施業の推進や間伐材等の林地残材をバイオマス資源として活用する。	木の駅事業 183 t
W ②	市民主体の里山活用促進	森林の利活用による森林整備を推進するとともに、環境教育、ヘルスケア、獣害対策等の副次的効果を期待した森林の利活用を促進する。	薪・ペレットストーブ補助実績 14件 森づくりパートナー協定締結 1件 里山マイスター研修 参加者延べ人数 80人

	取組	内容	進捗：2025（令和7）年度実績
N ①	公用車を次世代自動車へ更新	2030（令和12）年に公用車を次世代自動車（HV・EV・FCV等）に更新する。	HVを5台導入

1. 前回（令和7年度第2回）のご質問とその回答
2. 令和7年度 S-TOWNプロジェクトの進捗報告
- 3. 令和8年度取り組み**

■ R8年度の新規・拡充等事業について

	取組	内容	予定：2026（令和8）年度見込み
S	市有施設での再エネ発電実施	ESCO事業による小中学校や地域センターへのPVを設置	ESCO事業 3施設
T	環境関連ビジネスの育成	環境分野におけるビジネスの活性化、付加価値の創出、人材育成のため、ビジネスセミナー等を開催	市内事業者向けセミナー 2回
	環境教育プログラム・ウェブ上の環境学習拠点	環境学習のデジタルコンテンツとして、東広島スマートエネルギー株式会社（HSE）のHP内に「のん太の自然発見パーク」を展開	市内小中学校の児童・生徒を対象とした学習者及び教員用のポータルサイトに掲載し、利活用の促進を図る。
	エコスクールの推進	持続可能な社会の担い手を育成するための活動と環境を考慮した学校施設エコスクールの整備を推進する	学校の増築に伴うZEB Ready化 着工 1校 郷田小学校
	次世代交通システムの導入検討	JR西条駅と広島大学をつなぐブルバールでのBRT（Bus Rapid Transit：バス高速輸送システム）の導入検討	EVバスによる自動運転実証実験において、有償運行での実験を予定。
O	有機性廃棄物の有効利用	有機性廃棄物の有効利用を図るためたい肥化等して活用する。	庁舎内の紙ごみの資源化を行う。
	広島中央エコパークをフィールドとした産学官共同連携プロジェクト	汚泥再生処理センターの消費電力の省力化を目指す目的のメタゲノム解析を継続する。（令和7年度からの継続）	定期的な性能確認を実施し、メタゲノム解析結果との関連性検証を継続。エネルギー使用量削減技術を検討し、令和8年度完了予定。
W	里山活用促進	森林のCO2等の吸収量に付加価値をつけることで、適切な森林管理を促進する。	Jクレジットの導入検討
N	公用車を次世代自動車へ更新	2030（令和12）年に公用車を次世代自動車（HV・EV・FCV等）に更新する。	電動小型自動車 mibot 1台導入

■ 参考：R8年度事業のご紹介

エコパークの産官学連携プロジェクト



出典：<https://hirochu-k.jp/facility/ecopark/>

エコパークの産官学連携プロジェクトとは？？

【実施事業者】

カナデビア・プラチナバイオ

【テーマ】

エコパークを舞台として、し尿処理に係る省力化を目指したメタゲノム解析を実施中

【内容】

運転条件、処理性能とメタゲノム解析を長期間調査し、処理の安定化や省力化に向けた各種検討を行う。

➡季節変動に対する安定性の向上や、プロアー等の設備稼働に係る電気代を下げることで施設全体のCO₂排出量を削減することができる。

mibot

ミボットとは？？

東広島市の会社 KGモーターズが作った1人乗りの空調機能を備えた電動小型自動車。



出典：<https://mibot.kg-m.jp/>

■ 参考：R8年度の触れる地球（スフィア）イベントのご紹介



日時	イベント	場所
5/16 (土)	ひとむすびの ガイドコプロジェクト	西条中央公園 (美術館前公園)
6/7 (日)	ひとむすびの ガイドコプロジェクト	
8/8 (土)	ひとむすびの場 ナイトマーケット	
10/18 (日)	エコパークフェア	広島中央エコパーク
11月上旬	生涯学習 フェスティバル	東広島芸術文化ホール くら ら

高校生プレゼンイベント

東広島未来 LABO

～デジタル地球儀と自己探求表現～

デジタル地球儀「触れる地球」を使い、自分たちが理想とする環境や未来の地球の姿を表現してみませんか？
このプロジェクトは、単なる知識の発表ではなく、地球儀を通して「自分たちの理想」を形にする自己表現の場です。
全4回のプログラムを通じて、フィードバックを受けながら、自分たちの考えを深めていきます。

対象者

東広島市内在住の高校生、
東広島市内の学校に通学する高校生
【参加単位：1～4名】

参加特典

「活動参加証明書」を発行します！
全日程を終了した方には、長期にわたる探究活動の記録として、全員に授与します。

スケジュール

1日目 インタロクシオン・交流

日時 2026年 7月12日（日）10:00～16:00
場所 東広島イノベーションラボ ミライノ+
内容 ●説明会
●参加者同士の交流
●地球儀の操作体験

2日目 中間発表①

日時 2026年 8月8日（土）13:00～16:00
場所 東広島市立美術館
内容 構成案の共有とフィードバック

3日目 中間発表②

日時 2026年 9月下旬（予定）※1日目に日程を決めます。
場所 未定
内容 プレゼンテーションを含めたリハーサル発表

4日目 最終発表

エコパークフェア内で開催
日時 2026年 10月18日（日）
場所 広島中央エコパーク
内容 最終発表、講評、および表彰式

【主催】東広島市環境先進都市推進課
【お問い合わせ先】hhhitomusubi@gmail.com
(合同会社ひとむすび)

参加申込はこちら

